竹の丸保存・活用計画

Kakegawa-city Sizuoka 2006

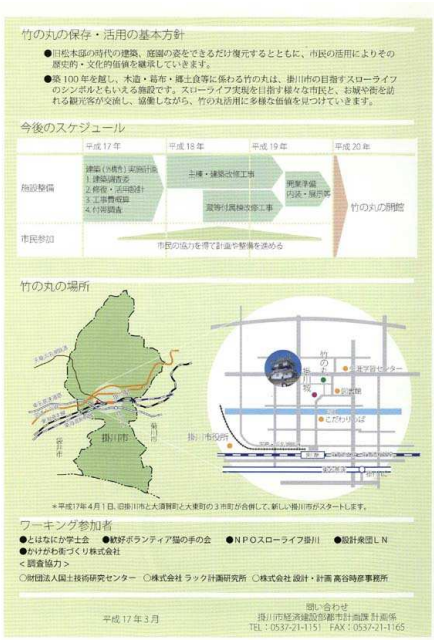
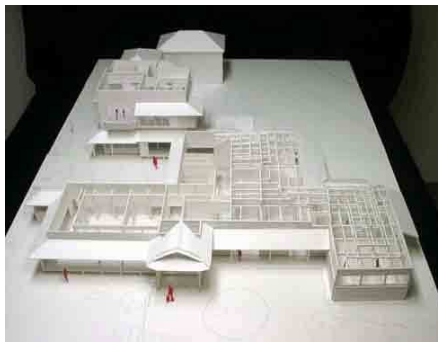
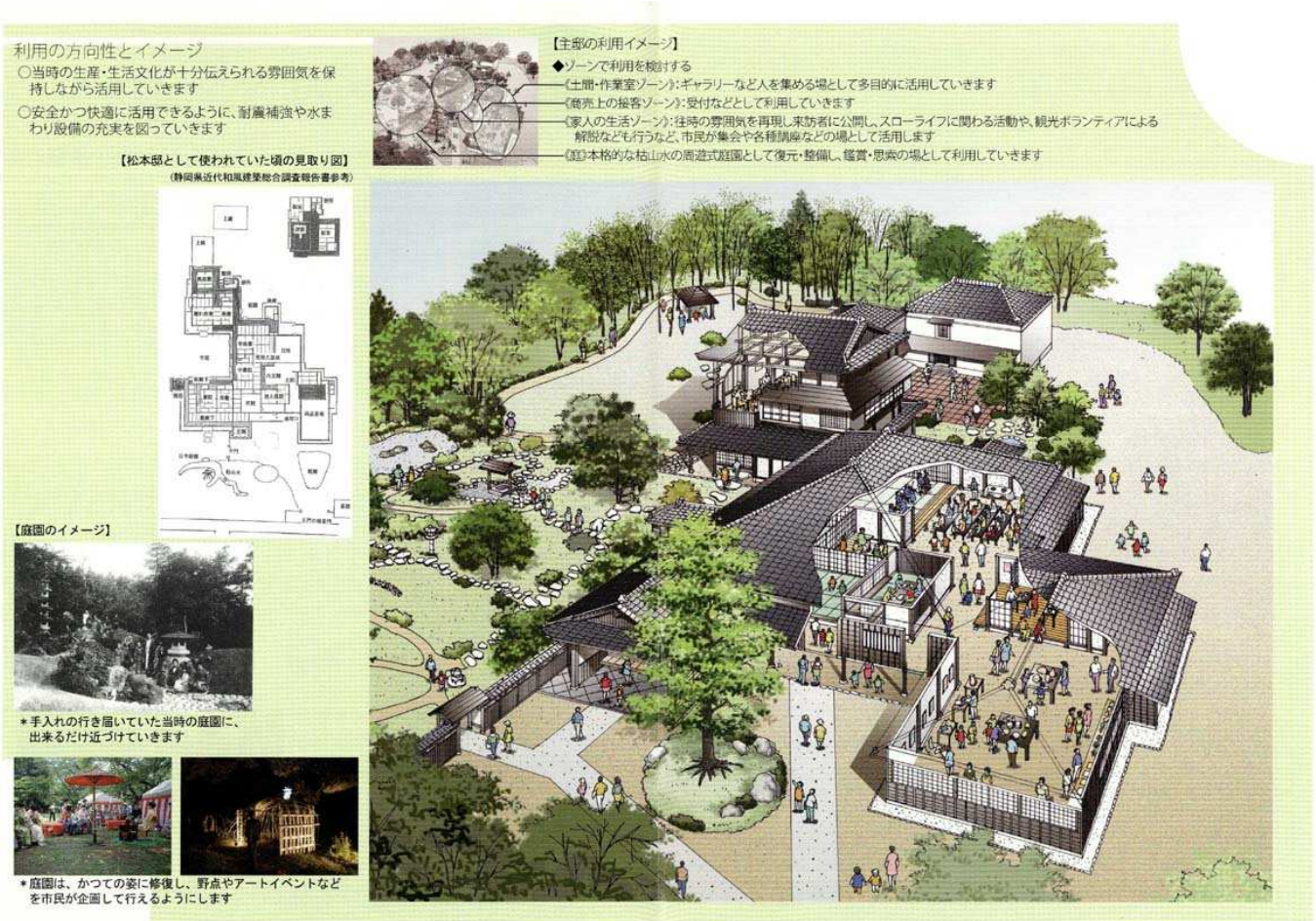
＜豪商の館を市民資産として保存活用＞

計画敷地：静岡県掛川市

発注：掛川市

調査：2004　～2006.3

工期：2007.4～2009.3



掛川城竹の丸の旧松本邸は明治以降の西洋化の流れに対し伝統的な建築を和風として捕らえ直す中で生み出された近代和風建築の一つ。なかでも家業の葛布生産の場（土間）、豪商の生活の場（座敷）、格式のある接客の場（書院）、意匠と贅を凝らした和洋折衷の間（離れ貴賓室）など当時の生活文化を伝える要素が一式となっているところに特徴かある。市民の皆さんと保存活用の方策を検討した。